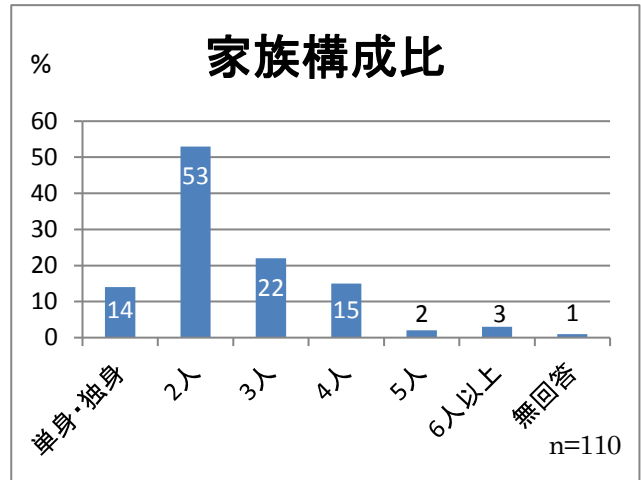
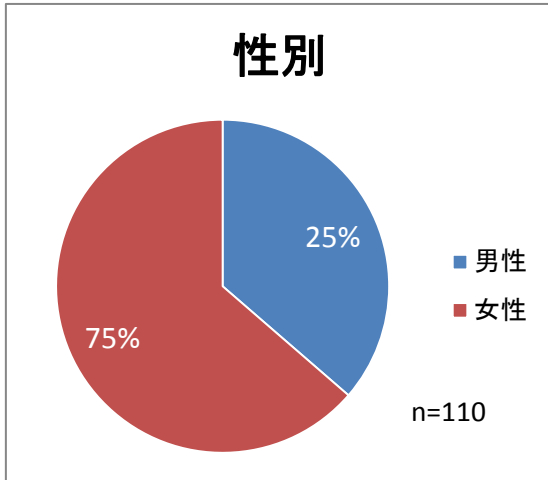


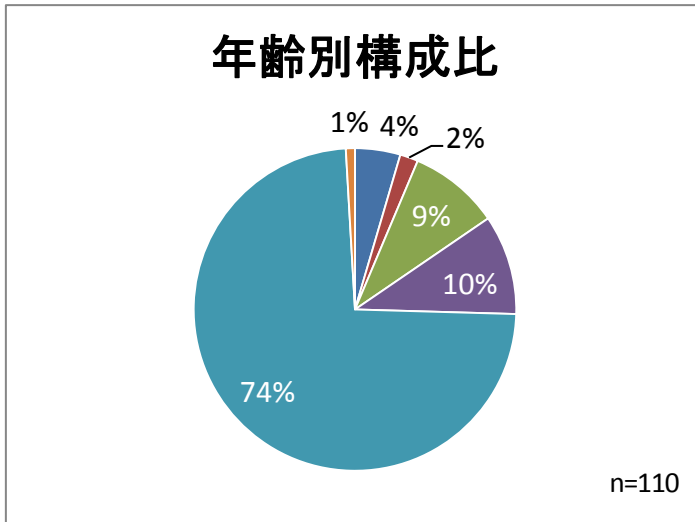
需要動向調査（平成 29 年度）

1. プレミアム商品券利用者アンケート調査結果

(1) 回答者の属性



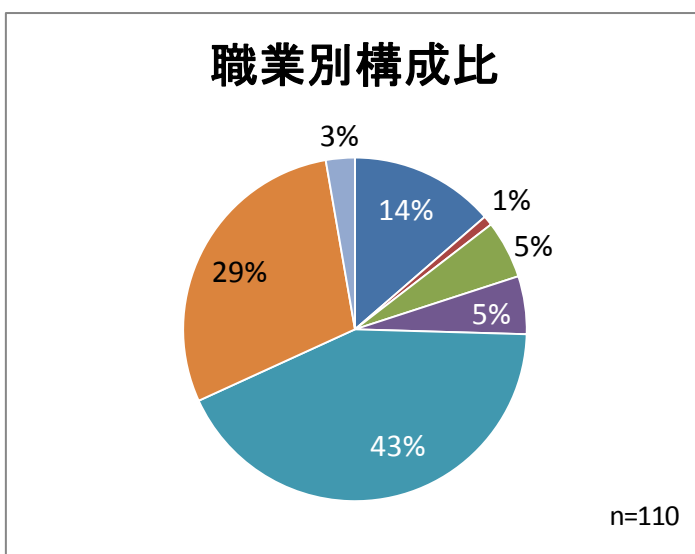
<年齢別構成比>



本アンケートにおける需要動向は調査対象の年齢帯の多くが 60 代以上の高齢者が中心であったことが色濃く反映していると予想される。そのことから地域の年齢帯構成により需要構造に差が生じることが予想され、年齢構成に応じた需要予測、アプローチが必要とされる。

■ ~20 歳代 ■ 30 歳代
 ■ 40 歳代 ■ 50 歳代
 ■ 60 歳代~ ■ 無回答

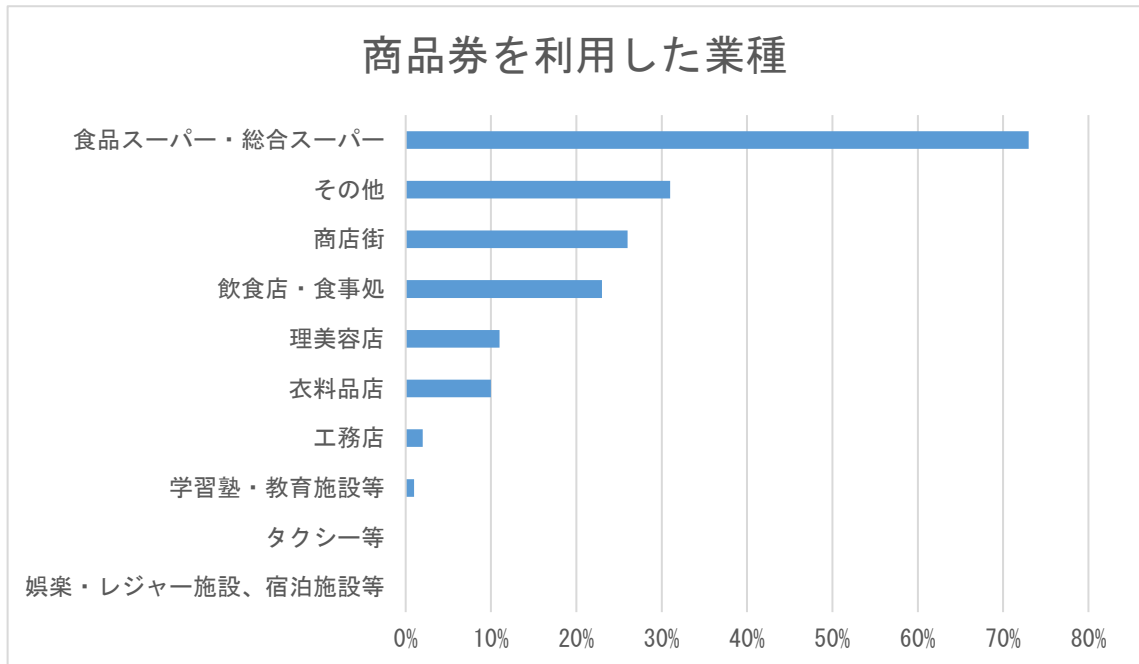
<職業別構成比>



主婦(夫)が約 4 割を占める。昨年と比較すると約 3 割の減であり、この減少分が会社員とその他に流れており両者とも約 2 倍となっている。その他は年齢が 60 歳代が大半の為無職と思われ、商品券販売は日曜日であるが家庭にいる方が購入に来られていると考えられる。

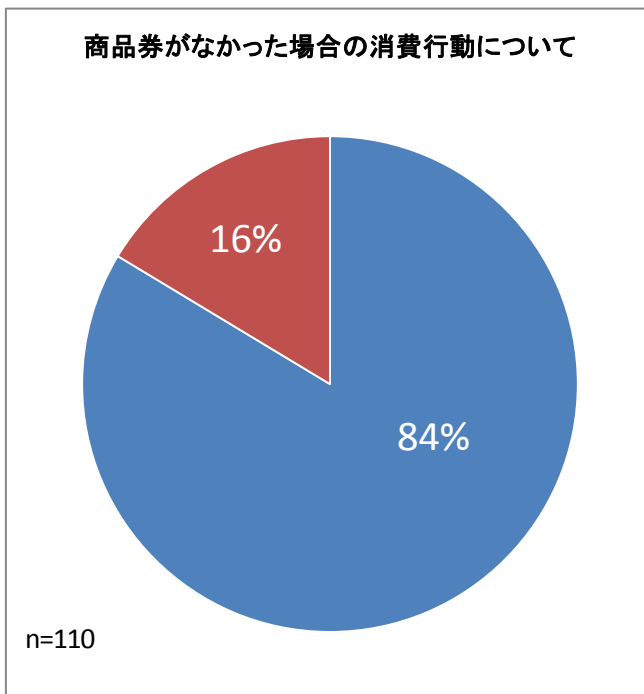
■ 会社員 ■ 公務員・団体職員
 ■ 自営業 ■ パート
 ■ 主婦（夫） ■ その他
 ■ 無回答

(2) プレミアム商品券を利用した業種



利用業種は「食品スーパー・総合スーパー」が多く、最寄品等の買物にプレミアム商品券を利用する傾向が強く表れている。

(3) プレミアム商品券がなかった場合の消費行動



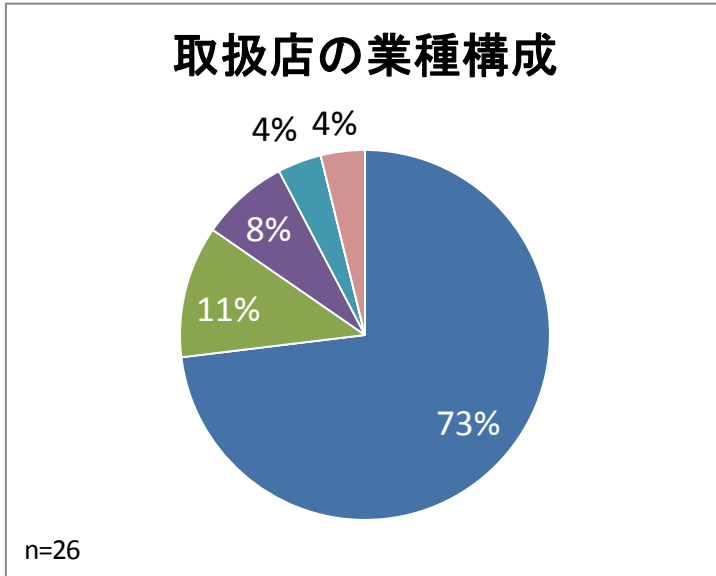
商品券がない場合の消費行動としては、「地元以外で購入する」が16%と回答しており、少なからず地域外へ流出する消費を抑制していることがわかる。

しかし、84%はプレミアム商品券がなくても「地元で購入する」と回答していることから、地元で買い物をしたいというニーズが強いことがうかがえる。

- 地元で購入する
- 地元以外で購入する

2. プレミアム商品券取扱店アンケート調査結果

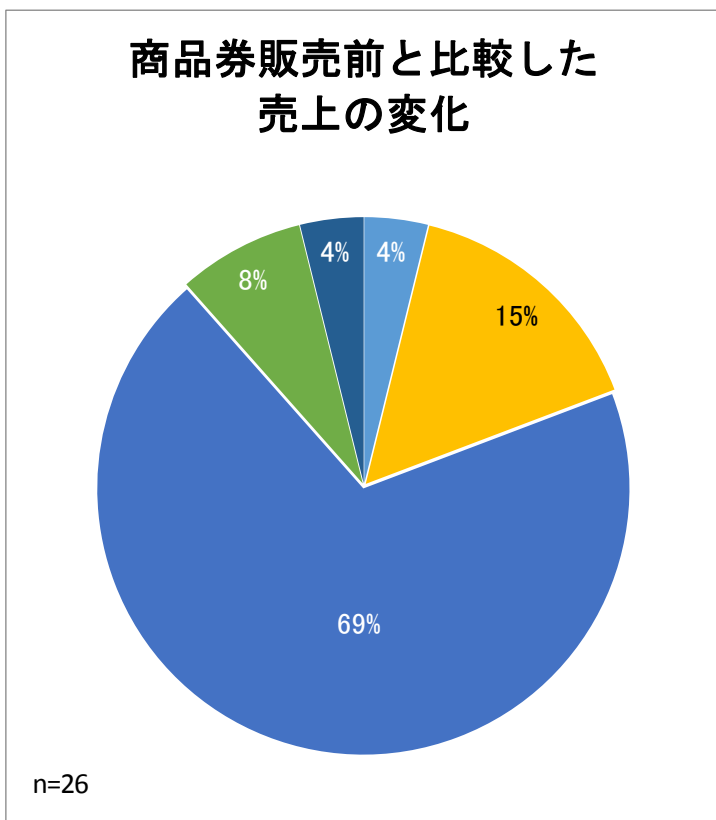
(1) 取扱店の業種構成



「小売」が 73%、「土木・建設」が 11%、「飲食」が 8%と、全体の 81%が小売・飲食・サービスで占めている。

- 小売
- 飲食
- 土木・建設
- 医療・福祉
- その他

(2) プレミアム商品券販売前と比較した売上（註）の変化



売上（註）が「30%以上増加した」と回答した店舗は 4%

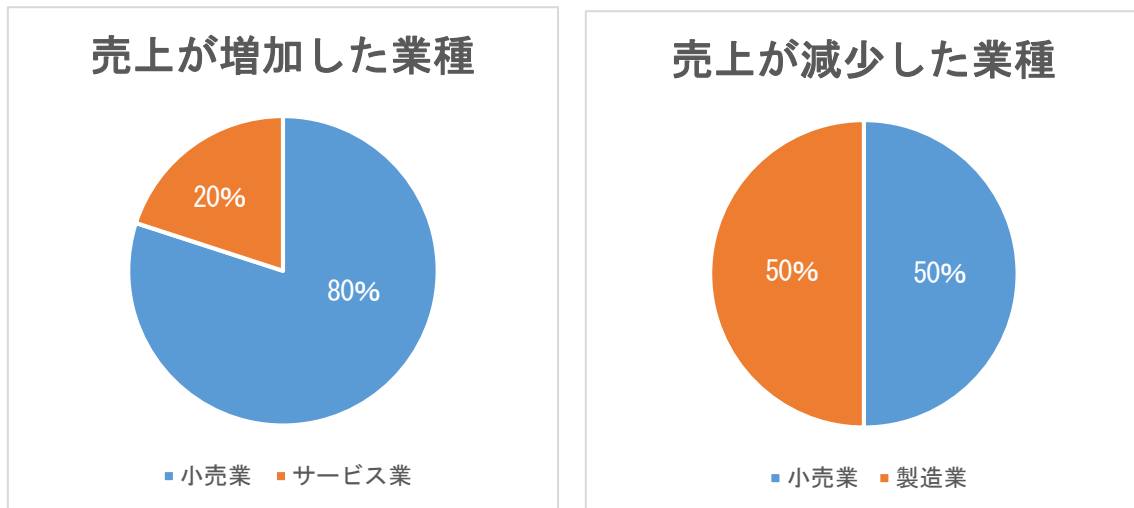
「20~30%増加した」「10%~20%増加した」と回答した店舗はなかった。

「0~10%増加した」と回答した店舗は 15%。

69%は「変わらなかった」と回答。

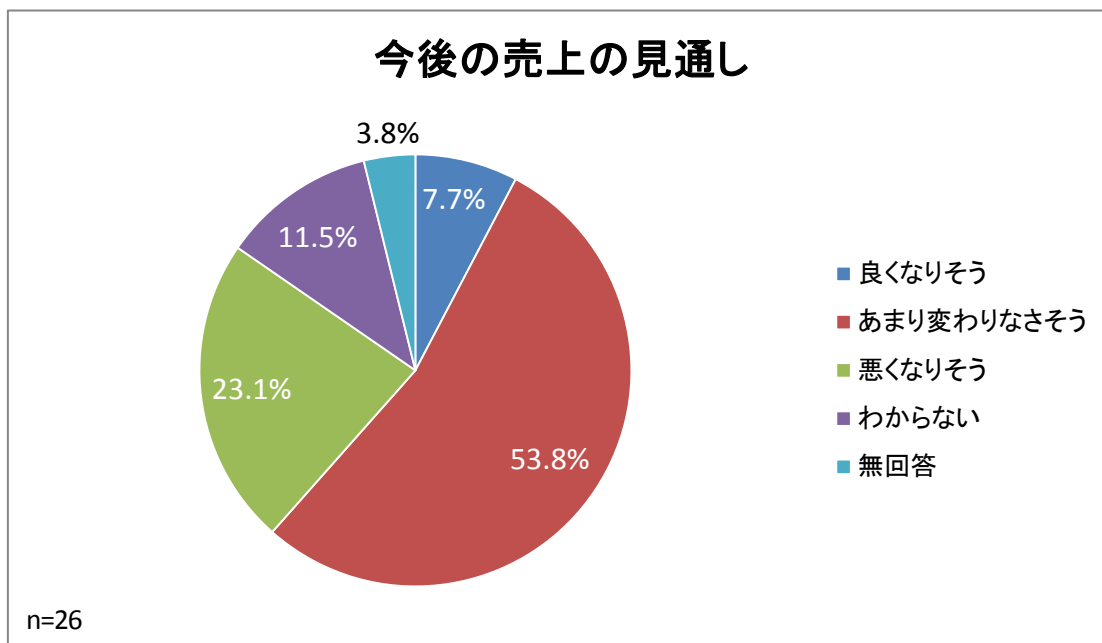
8%の店舗が「減少した」と回答した。

- 30%以上増加した
- 0%~10%増加した
- 変わらなかった
- 減少した
- わからない



註：アンケート調査における「売上」は現金等も含んだ全体の売上であり「プレミアム商品券を使用した売上」ではありません。

(3) 今後の売上の見通し

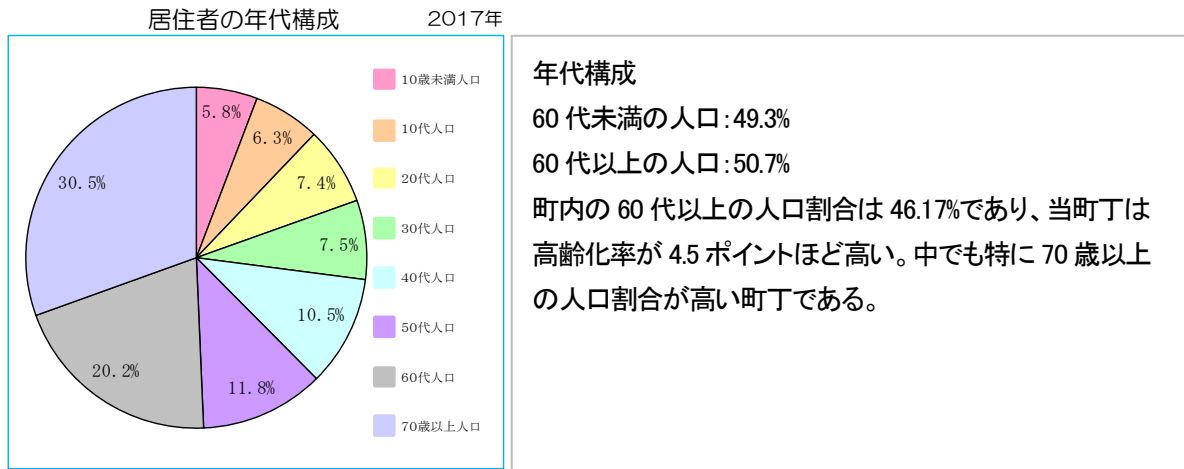


今後の売上見通しについて、「良くなりそう」と回答した店舗は 7.7%で、「あまり変わりなさそう」と回答した店舗は 53.8%。「悪くなりそう」と回答した店舗は 23.1%であった。

「良くなりそう」と回答した割合から「悪くなりそう」と回答した割合を差し引いた売上見通しDIは▲15.4と、今後の景況感は厳しい見通しになっている。

3. 町丁字別の需要動向

(1) 大字採銅所



【特徴】大字採銅所の消費動向としては、高齢化率が高いことにより、医薬品や健康保持用摂取品の支出額が高いことが挙げられる。逆に、子供用洋服、子供用シャツ・セーター、教育費、テレビゲーム機、玩具などの子供用品への支出は低調である。

分野別水準判定では、持ち家世帯比率が高いこと等から「安定」の項目が高水準だが、昼夜間人口比及び民営事業所比率が低いことから「流入」の項目は低水準である。

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	43.24	60.40	44.47	39.49	43.88	54.74	47.40
水準判定	-	++	-	--	-	+	=

符号の意味:++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

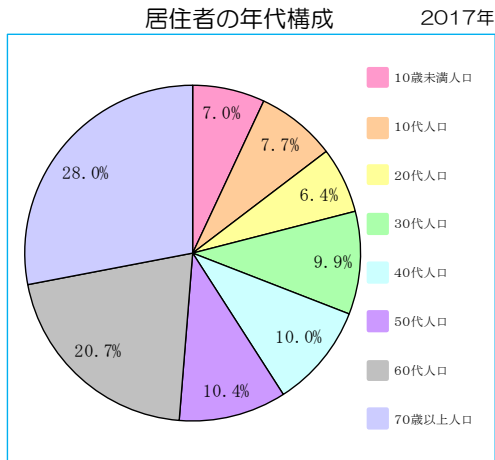
消費支出の偏差値が高い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	43.94
	果物	43.97
住居費	設備修繕・維持費	43.96
	設備材料	43.94
家事・家具用品	家事サービス	43.93
保険・医療関連	医薬品	43.94
	健康保持用摂取品	44.00
	眼鏡	43.93
教養娯楽	切り花	43.99
	園芸用品	43.97
	書籍・他の印刷物	43.93

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
住居費	一般家具	43.75
被服及び履物	子供用洋服	43.62
	子供用シャツ・セーター	43.60
保健医療関連	コンタクトレンズ	43.70
交通・通信費	自動車等購入	43.74
	自動車等関連用品	43.75
教育費	授業料等	43.70
教養・娯楽	テレビゲーム機	43.68
	他の玩具	43.64

(2) 大字香春



年代構成

60代未満の人口: 51.3%

60代以上の人口: 48.7%

町内の60代以上の人口割合は46.17%であり、当町丁は高齢化率が2.5ポイントほど高い。

【特徴】大字香春の消費動向として、園芸用品などの教養娯楽関連支出、住居費の項目が高い一方で、高齢化率が高いことにより教育費関連支出やテレビゲーム機の支出が低調である。分野別水準判定では、小売中心地性及び民営事業所比率が高いことから「流入」の項目で高水準となっている。

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	50.63	50.53	51.54	60.04	45.73	57.44	52.65
水準判定	=	=	=	++	-	+	+

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

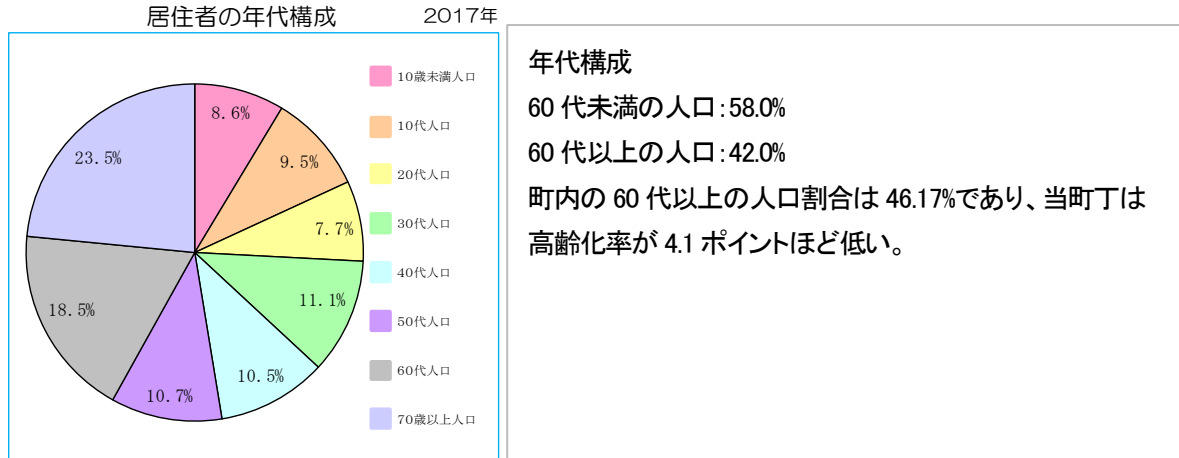
消費支出の偏差値が高い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	49.77
	果物	49.82
住居費	設備修繕・維持費	49.86
	設備材料	49.83
家事・家具用品	冷暖房器具	49.86
	家事サービス	49.75
被服及び履物	生地・生糸	49.79
保健・医療関係	医薬品	49.75
	健康保持用接取品	49.84
教養・娯楽	切り花	49.86
	園芸用品	49.91

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
住居費	家賃地代	49.14
保健医療関連	コンタクトレンズ	48.86
教育費	授業料	48.75
	教科書・学習参考教材	48.73
	補習教育	48.76
	幼児小学校補習教育	48.99
	中学校補習教育	48.75
	高校補習教育 予備校	48.51
教育娯楽	テレビゲーム機	49.18

(3) 大字高野



【特徴】大字高野の消費動向として、大字中津原に次いで全般的に消費支出が高い。特に現役世代、子育て世代が多い地域であることから、子供用シャツ・セーター、子供用洋服、テレビゲームなどの支出比率が高くなっている。逆に健康保持用摂取品や切り花といった、高齢化比率が高い地区では支出比率の高い項目が低比率となっている。分野別水準判定では、軒並み好調で、昼夜間人口比、小売中心地性、民営事業所比率のいずれも高いことから「流入」の項目で高水準となっている。

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	55.54	42.89	55.65	55.31	52.64	55.04	52.85
水準判定	+	-	+	+	+	+	+

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

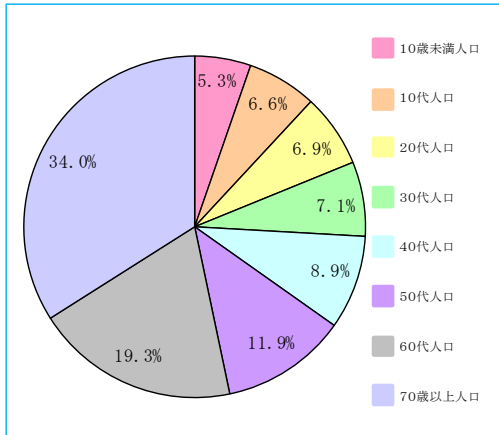
分類	細目	偏差値
被服及び履物	子供用洋服	55.23
	子供用シャツ・セーター	55.34
保健医療関係	コンタクトレンズ	54.77
交通・通信費	自転車	54.62
教育費	授業料等	54.70
	補習教育	54.62
	幼児・小学校補習教育	55.11
教養娯楽	テレビゲーム機	55.16
	他の玩具	55.07

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	54.01
	果物	53.95
住居費	設備修繕維持	53.92
	設備材料	53.96
家具家事用品	家事サービス	54.00
保健医療関連	医薬品	54.01
	健康保持用摂取品	53.83
	眼鏡	54.02
教養娯楽	切花	53.85
	園芸用品	53.91

(4) 大字鏡山

居住者の年代構成 2017年



年代構成

60代未満の人口:46.7%

60代以上の人口:53.3%

町内の60代以上の人口割合は46.17%であり、当町丁は高齢化率が7.1ポイントほど高い。中でも特に70歳以上の人口割合が高い町丁である。

【特徴】大字鏡山の消費動向として、高齢化率が高いことにより、健康保持用摂取品、切花、園芸用品の支出比率が高い。逆に子供用シャツ・セーター、子供用洋服や教育費の支出比率は低くなっている。分野別水準判定では、65歳以上人口比率及び持ち家世帯比率が高いことから「安定」の項目が高水準だが、住民基本台帳人口伸び率及び将来推計人口伸び率が低く、「成長」の項目ではやや低水準となっている。

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	42.78	61.55	41.91	58.39	43.21	43.21	49.19
水準判定	-	++	-	+	-	-	=

符号の意味:++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

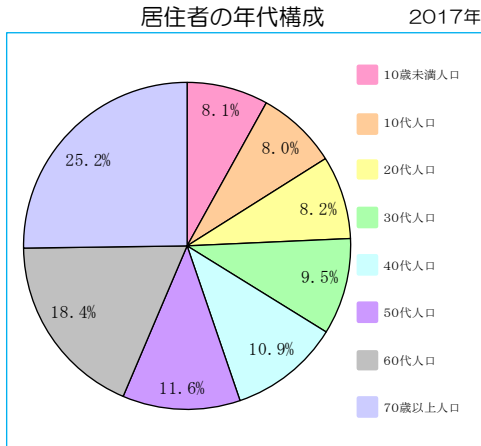
消費支出の偏差値が高い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	42.45
	果物	42.51
住居費	設備修繕維持	42.50
	設備材料	42.48
家具家事用品	家事サービス	42.46
保健医療関連	医薬品	42.45
	健康保持用摂取品	42.58
	眼鏡	42.45
教養娯楽	切花	42.55
	園芸用品	42.52
	書籍・他の印刷物	42.45

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
衣服及び履物	子供用洋服	41.99
	子供用シャツ・セーター	41.94
教育費	授業料等	42.00
	教科書・学習参考教材	42.02
	補習教育	42.01
	幼児・小学校補習教育	41.91
教養娯楽	中学校補習教育支出額	42.03
	テレビゲーム機	42.01
	他の玩具	42.03

(5) 大字中津原



年代構成

60代未満の人口: 56.4%

60代以上の人口: 43.6%

町内の60代以上の人口割合は46.17%であり、当町丁は高齢化率が2.57ポイントほど低い。

【特徴】大字中津原の消費動向として、町内で最も消費支出が高い地域であるが、特に教育費への支出比率が高い。逆に園芸用品や健康保持用接取品の比率は高齢者率が高い地域に比べ支出比率が低くなっている。

分野別水準判定では、人口規模が大きく、年収700万円以上就業者数及び1千万円以上貯蓄高世帯数も多い為、「規模」、「富裕」共に高水準である。また、住民基本台帳世帯密度及び昼間人口密度も高く、「密集」の項目でも高水準である。

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	66.89	38.67	66.17	47.57	69.18	42.31	55.13
水準判定	++	--	++	=	++	-	+

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

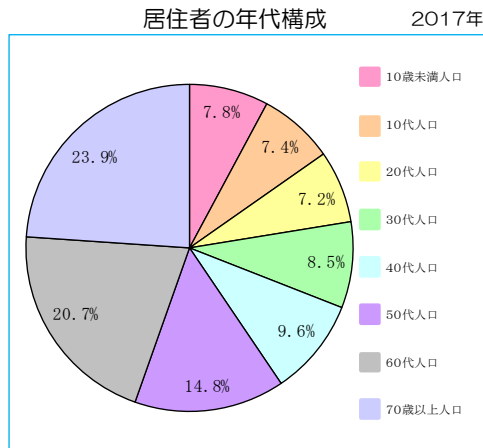
消費支出の偏差値が高い分類、細目

分類	細目	偏差値
被服及び履物	和服	68.01
	被服関連サービス	68.02
保健医療関連	健康保持用摂取品	68.04
	眼鏡	68.02
交通・通信費	交通費	68.01
教育費	高校補習教育・予備校	68.26
教養娯楽	パーソナルコンピュータ	68.01
	切り花	68.03
	ペットフード	68.02
	書籍・他の印刷物購買力	68.01

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
家具・家事用品	一般家具	67.84
被服及び履物	子供用洋服	67.52
	子供用シャツ・セーター	67.48
交通・通信費	自動車等	67.86
	自転車	67.81
	自動車等関連用品	67.87
教育費	幼児・小学校補習教育	67.69
教養娯楽	運動用具類	67.87
	テレビゲーム機	67.62
	他の玩具	67.60
	月謝類	67.83

(6) 大字柿下



年代構成

60代未満の人口: 55.4%

60代以上の人口: 44.6%

町内の60代以上の人口割合は46.17%であり、当町丁は高齢化率が1.57ポイントほど低い。

【特徴】大字柿下の消費動向として、高齢化率が低いこともあり教育費への支出割合が高い。逆に園芸用品や健康保持用摂取品の支出割合は低くなっている。
 分野別水準判定では、ほとんどの項目が低調である。特に、昼夜間人口比、小売中心地性、民営事業所比率がいずれも低く、「流入」の項目は特に低水準である。

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	40.93	45.91	40.23	39.19	45.36	43.19	42.47
水準判定	--	-	-	--	-	-	-

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

分類	細目	偏差値
被服及び履物	男子用洋服	42.45
保健医療関連	コンタクトレンズ	42.74
教育費	授業料	42.91
	教科書・学習参考教材	42.86
	補習教育	42.76
	幼児・小学校補習教育	42.52
	中学校補習教育	42.71
	高校補習教育・予備校	43.12
教養娯楽	他の愛がん動物・同用品	42.38

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	41.84
	果物	41.76
住宅費	設備修繕・維持費	41.76
	設備材料	41.80
家具・家事用品	家事サービス	41.86
被服及び履物	生地・糸類	41.85
保健医療関連	医薬品	41.86
	健康保持用摂取品	41.71
教養娯楽	切り花	41.73
	園芸用品	41.70
	手芸・工芸材料	41.84